

神戸だより

台湾交流支援の会 2019.9発行 Vol.22

< ゴミ収集 > 小高 功

今回は、ここ神戸のごみ収集の様子をご紹介します。(所有するごみ関連施設の違いによって各市町村のごみ収集方法は異なっています。) 神戸市は、ごみ処分の基本として、Reduce、Reuse、Recycleの3Rを掲げております。

Reduce: まずは、ゴミになるものを減らしましょう

Reuse: つぎは、ものを繰り返し大切に使いましょう

Recycle: そして、もう一度資源として活用しましょう

ごみは、指定された種類ごとに分類(コンビニ、スーパー等で販売している市指定のゴミ袋を使用し、指定された日時に、指定場所に出します。市のゴミ収集車によって回収されたごみは、それぞれ異なる処理場に送られます。



【ゴミの種類】

①燃えるゴミ 台所ごみ、紙類等。「クリーンセンター」の焼却炉で燃やされます。

残された灰は、「大阪湾フェニックスセンター」で埋め立てに利用されます。

②容器梱包プラスチック プラスチックのカップ、袋、ボトル(ペットボトルを除く)等。

「リサイクル工場」で公園のベンチ、花鉢等の材料として利用されます。

③缶・瓶、ペットボトル 「資源リサイクルセンター」で分類された後、「リサイクル工場」に送られ、再度缶・瓶・ボトルの材料として利用されます。



④燃えないゴミ ガラス・陶器・小型家電製品等

「破碎選別施設」で粉碎され、金属が回収された後、埋められたり燃やされたりします。

⑤カセットボンベ、スプレー缶 ゴミ回収車での火災事故が多発したことから、ごみ回収車には入れず別途回収されます。

中身を空にしたものを他のゴミと一緒にせず袋に入れて出します。その後は燃えないゴミと同様に処理されます。

市のゴミ収集車では回収されないゴミとして、

①大型ごみ 神戸市・受付センターに引き取りを予約し、所定金額の大型ごみシールを添付します。指定日に家の前で回収されます。費用は大きさにより1個300~1200円です。

②新聞・段ボール 民間業者の車が隔週指定曜日に家の前で回収し、製紙工場に運ばれ再利用されます。

【収集場所】

歩いて1~2分の所に燃えるゴミ用に1か所、燃えないゴミ他としてもう1か所、計2か所の収集場所があります。近隣の60家庭の共同利用で、皆で回収後の清掃(各家庭:1回/5カ月)を行っております。一時期たくさんの鳥が台所の生ごみを突き、飛散させることが起こりました。ビニール製の網でカバーして、解決しました。



私も約40年間今の住宅に住み、このゴミの分類を面倒だと思ってもなくなりましたが、転居してきた人が誤った出し方をするのでしょう。ちょくちょく自治会の回覧で出し方の徹底要請があります。ゴミと資源の分け方・出し方のマニュアル「ワケトンブック」は34ページの厚さです。



<わが街のアイドル荘さん> 能勢 均

2015年の早秋の晩、近所の立ち飲み屋(松屋)で飲んでいると、背の高い青年が知人の男性と入ってきました。知人が外国人留学生向けの宿を営んでいることを知っていたので、知人に「彼は留学生？」と聞くと、「そうだ」と言いました。「どこの国の人？」と聞くと「台湾の人」との答えに私は喜びました。

私が2015年8月に、神戸市シルバーカレッジの仲間と共に、台中市の天主教曉明長青大学と新竹市東区樂齡學習中心などを訪問したことを話すと、彼も歓喜しました。それから日本語を学ぶために台北市からやってきた彼とすっかり仲良くなりました。

2014年に来日して以来、一時、兵役に就くために帰国しましたが、2年半前に再度来日し、日本語もすっかり上手になり、こちらで就職しました。今年の4月まで、宿泊先の娘さんが学ぶ小学校のボランティア活動団体「親父の会」に入り、音楽会や体育祭の警備などを手伝いました。



「松屋」で、荘さん(左)と宿泊先のご主人。常連さんたちと。

また、地域のお祭り(だんじり祭り)にも参加しています。何しろ身長約185cm、体重約100kgの大柄なので、重い地車(だんじり)を動かすのに適役なのです。それだけではありません、松屋の主人の趣味が魚釣りなのですが、その釣りの会にも参加しています。

また、今年2月には、私たち松屋の常連の1泊旅行にも、カナダなどの留学生と共に参加し、約20人で猪鍋を堪能しました。誠実で温厚な性格の壮正彦(27歳)さんは、誰からも愛される私たちの街のアイドルなのです。



地車(だんじり)祭り風景(2019年5月1日)